

2023年12月期 通期決算 概要

The AGC logo is displayed in a white box on the right side of the slide. It consists of the letters "AGC" in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the "A" and the "G".

AGC株式会社

2024年2月7日

Your Dreams, Our Challenge



2023年12月期 通期決算 概要	P.03
1. 業績のポイントと主要項目	P.05
2. セグメント別・地域別の状況	P.12
2024年通期業績の見通し	P.22
付属資料	P.30

2023年12月期通期業績

	前期比	
売上高	20,193 億円	▲166億円
営業利益	1,288 億円	▲552億円

- 売上高は自動車用ガラス等の売上増加や為替の増収影響があったものの、塩ビの販売価格の下落、ライフサイエンスの受託売上減少等により前期比減収
- 営業利益は原燃材料価格が下落したものの、上述の減収要因に加え製造原価の悪化などの影響から前期比減益

2024年12月期通期見通し

	前期比	
売上高	21,000 億円	+807億円
営業利益	1,500 億円	+212億円

- 電子、ライフサイエンスの復調などにより、増収・増益

2023年12月期 通期業績

1. 業績のポイントと主要項目



2023年12月期 通期業績

* うち、為替差影響は+992億円、連結範囲変更の影響は▲48億円

(億円)

		FY2022 通期	FY2023 通期	増減	主な変動要因 (+)増加要因 (-)減少要因
売上高		20,359	20,193	▲ 166	(+) 自動車用ガラス販売価格上昇 * (+) 自動車用ガラスの出荷増加 (+) 円安 (-) 塩ビの販売価格下落 (-) バイオ医薬品CDMOの受託売上、フッ素関連製品の出荷が減少
営業利益		1,839	1,288	▲ 552	上記に加え、 (+) 原燃材料価格の下落 (-) 製造原価の悪化
税引前利益		585	1,228	+ 643	上記に加え、 (+) 前年に減損損失を計上 (-) 前年に土地売却益を計上
親会社の所有者に帰属する 当期純利益		▲ 32	658	+ 690	
為替レート (期中平均)	1USD	JPY 131.43	JPY 140.56		
	1EUR	JPY 138.04	JPY 152.00		
原油 (Dubai,期中平均)	USD/BBL	96.34	82.10		

セグメント別業績 前期比較

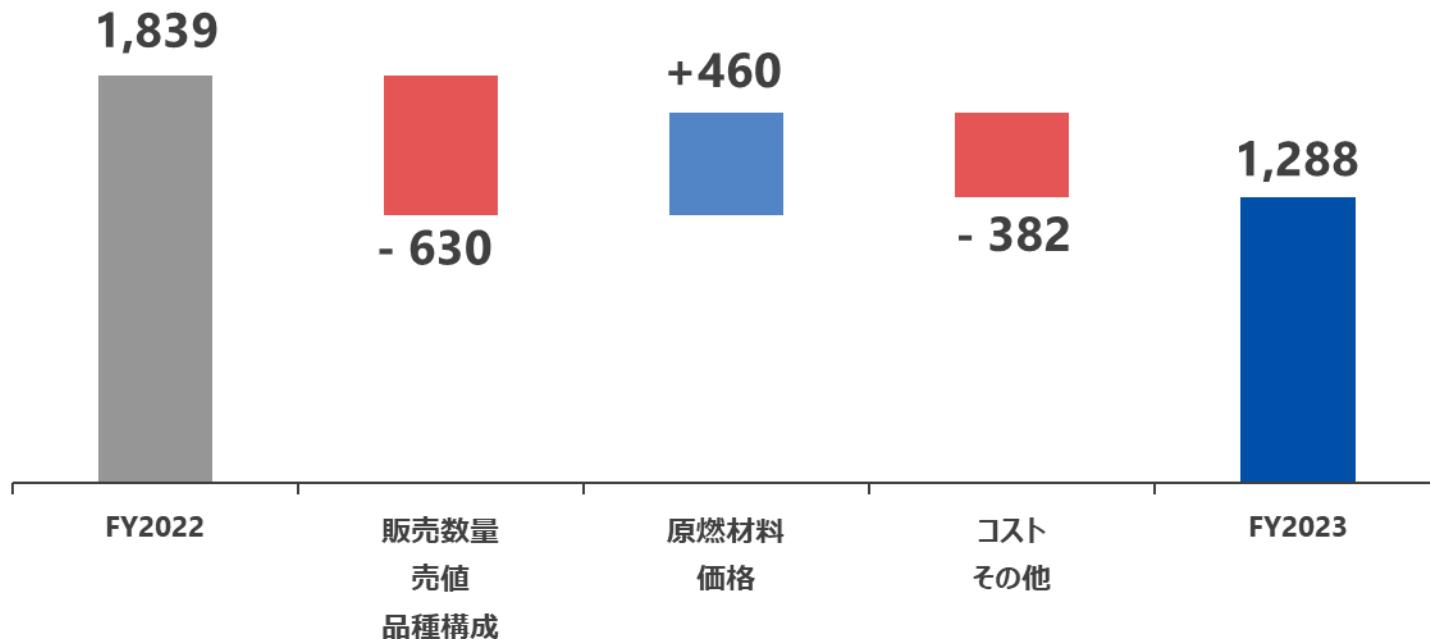
(億円)

	FY2022 通期 (a)		FY2023 通期 (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	4,837	327	4,763	328	▲ 74	+ 0
 オートモーティブ	4,178	▲ 98	4,997	218	+ 819	+ 316
 電子	3,072	147	3,132	184	+ 60	+ 37
 化学品	6,604	1,261	5,741	648	▲ 863	▲ 613
 ライフサイエンス	1,418	169	1,268	▲ 124	▲ 150	▲ 292
 セラミックス・その他	866	37	834	33	▲ 32	▲ 3
消去	▲ 616	▲ 3	▲ 542	1	+ 74	+ 4
連結合計	20,359	1,839	20,193	1,288	▲ 166	▲ 552

営業利益増減要因分析(FY2023 vs. FY2022)

前期比 552億円減益

(億円)



連結財政状態計算書

	(億円)			
	2022/12	2023/12	増減	
現金及び現金同等物	2,097	1,461	▲ 637	
棚卸資産	4,365	4,541	+ 175	
有形固定資産・無形資産及びのれん	15,148	16,312	+ 1,163	為替差影響 +833億円
その他	6,530	7,017	+ 487	
資産合計	28,140	29,330	+ 1,190	為替差影響 +1,426億円
有利子負債	6,502	6,950	+ 448	
その他	5,782	5,836	+ 54	
負債の部	12,284	12,787	+ 502	
親会社の所有者に帰属する持分合計	13,903	14,471	+ 568	
非支配持分	1,953	2,073	+ 119	
資本の部	15,856	16,543	+ 687	為替差影響 +784億円
負債及び資本合計	28,140	29,330	+ 1,190	
D/E比率	0.41	0.42		

連結キャッシュフロー計算書

	(億円)	
通期	FY2022	FY2023
税引前利益	585	1,228
減価償却費及び償却費	1,857	1,753
運転資金増減	▲ 854	▲ 280
その他	584	▲ 576
営業活動によるCF	2,171	2,125
投資活動によるCF	▲ 1,453	▲ 1,798
フリーキャッシュフロー	718	328
有利子負債増減	17	93
支払配当	▲ 522	▲ 460
その他	▲ 277	▲ 713
財務活動によるCF	▲ 782	▲ 1,080
現金等に係る換算差額	203	116
現金等の増減額	139	▲ 637

自己株式取得
▲ 500億円

設備投資・減価償却費・研究開発費

通期	FY2022	FY2023
設備投資額	2,366	2,317
建築ガラス	175	247
オートモーティブ	298	263
電子	800	514
化学品	649	877
ライフサイエンス	431	399
セラミックス・その他	14	18
消去	▲ 2	▲ 1

	FY2022	FY2023
減価償却費	1,857	1,753
建築ガラス	239	244
オートモーティブ	325	319
電子	684	532
化学品	475	501
ライフサイエンス	115	139
セラミックス・その他	19	21
消去	▲ 1	▲ 2

(億円)

	FY2022	FY2023
研究開発費	523	573

主な 設備投資 案件

- 東南アジアロールアルカリ能力増強 (化学品)
- ディスプレイ中国G11投資 (電子)
- バイオ医薬品・合成医薬品CDMO能力増強 (ライフサイエンス)
- 電子部材関連製造設備増強 (電子)
- フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- ディスプレイ製造窯修繕 (電子) など

2. セグメント別・地域別の状況



通期	FY2022	FY2023	増減
売上高	4,837	4,763	▲ 74*
アジア	1,469	1,584	+ 115
欧米	3,358	3,163	▲ 195
(セグメント間)	10	16	+ 7
営業利益	327	328	+ 0

* うち、為替差影響は+327億円、連結範囲変更の影響は+7億円

(億円)

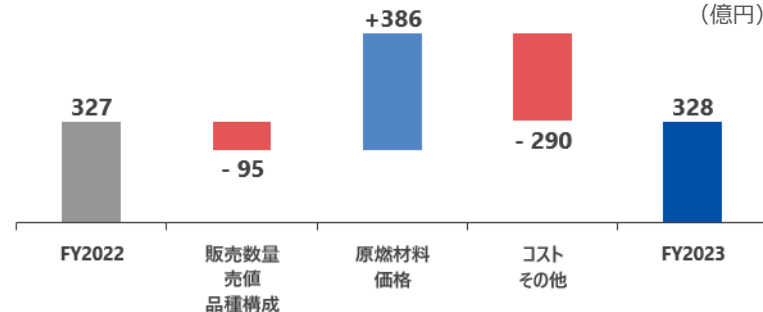
アジア

- 日本を除く地域で出荷が減少したものの、販売価格の上昇により増収

欧米

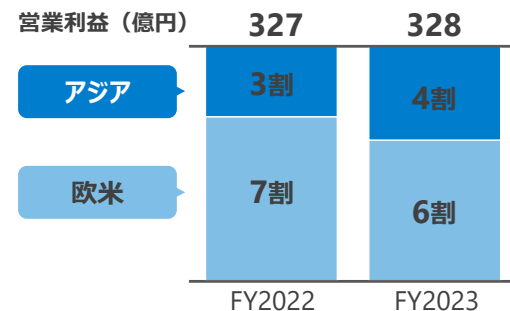
- 景気減速の影響を受けた欧州で出荷が減少し、販売価格が下落した結果、減収
- 天然ガス価格が下落するも製造原価が悪化

営業利益増減要因分析



営業利益構成比

共通費配賦前



通期	FY2022	FY2023	増減
売上高	4,178	4,997	+ 819*
オートモーティブ	4,176	4,994	+ 818
(セグメント間)	2	3	+ 1
営業利益	▲ 98	218	+ 316

* うち、為替差影響は+257億円、連結範囲変更の影響はなし

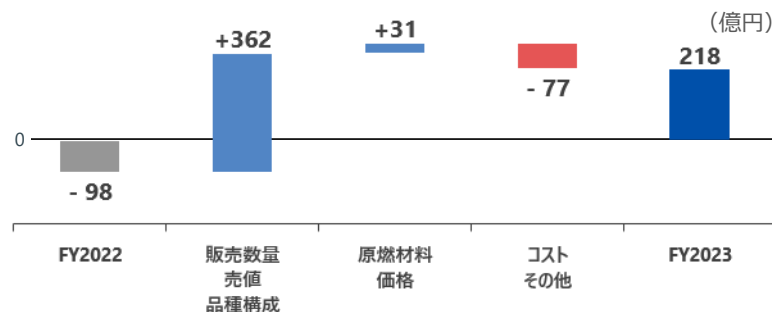
(億円)



自動車用ガラス

- 自動車生産台数の増加により、出荷が増加
- 販売価格の上昇や品種構成の改善、為替の影響もあり増収・増益

営業利益増減要因分析



通期	FY2022	FY2023	増減
売上高	3,072	3,132	+ 60*
ディスプレイ	1,554	1,607	+ 53
電子部材	1,495	1,513	+ 17
(セグメント間)	23	12	▲ 11
営業利益	147	184	+ 37

* うち、為替差影響は+71億円、連結範囲変更の影響は▲47億円

(億円)



ディスプレイ

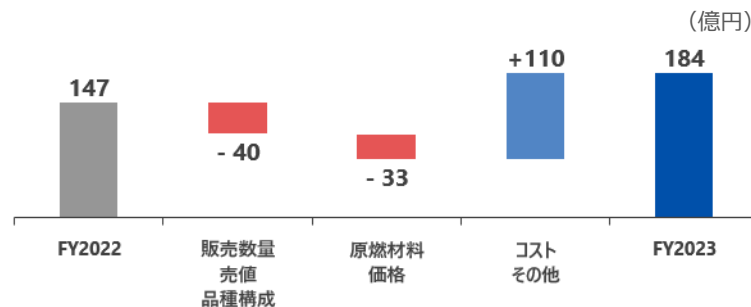
- 液晶用ガラス基板の出荷が増加したことなどにより増収



電子部材

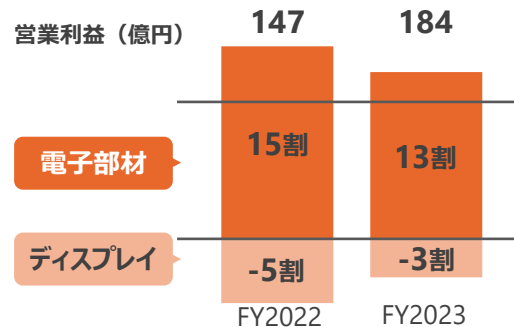
- オプトエレクトロニクス用部材の出荷は減少したものの、EUV露光用フォトリソマスクブランクス等の半導体関連製品の出荷が増加したことに加え、為替の影響により増収

営業利益増減要因分析



営業利益 構成比

共通費配賦前



ディスプレイ事業構造改革プロジェクトを発足

- 従来の収益改善策に加え、スピード感を持ち構造改革を確実に遂行するために、CFOをトップとするプロジェクトを発足
- 今年度を初年度とする新中期経営計画期間中にディスプレイ事業のROCE 10%達成を目指す

収益改善策

大型パネル用ガラス基板
への集中に向け
事業構造改革を推進

技術革新による
競争力強化

価格政策の
見直し

構造改革プロジェクト

プロジェクトの
狙い

経営トップが主導し、スピード感を持って構造改革を実施する

通期	FY2022	FY2023	増減
売上高	6,604	5,741	▲ 863*
エッセンシャルケミカルズ	4,898	4,028	▲ 870
パフォーマンスケミカルズ	1,652	1,669	+ 17
(セグメント間)	54	45	▲ 9
営業利益	1,261	648	▲ 613

* うち、為替差影響は+254億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

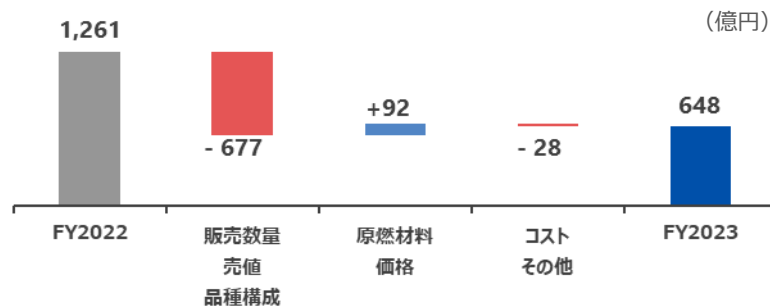
エッセンシャルケミカルズ

- 塩ビ等の販売価格が下落

パフォーマンスケミカルズ

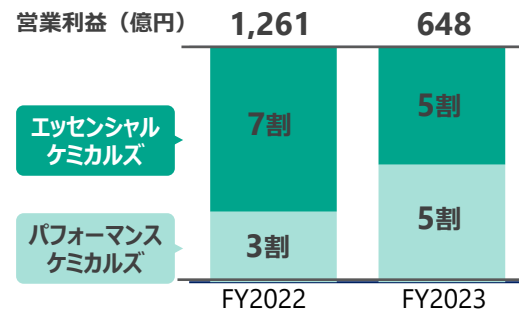
- フッ素関連製品の出荷は減少したものの、販売価格の上昇や為替の影響により前期並み

営業利益増減要因分析



営業利益 構成比

共通費配賦前



通期	FY2022	FY2023	増減
売上高	1,418	1,268	▲ 150*
ライフサイエンス	1,381	1,239	▲ 142
(セグメント間)	36	29	▲ 8
営業利益	169	▲ 124	▲ 292

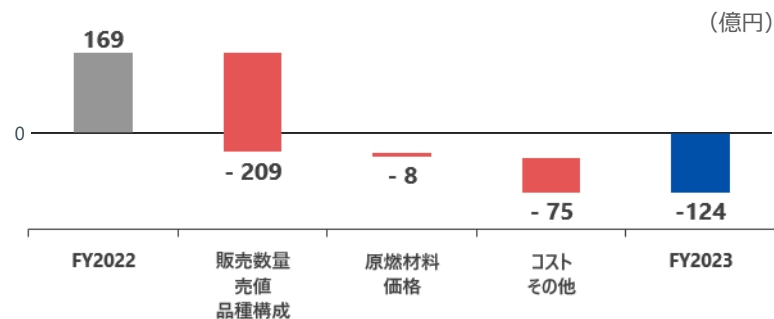
* うち、為替差影響は+80億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

🧬 ライフサイエンス

- コロナ特需の消失、バイオベンチャーへの資金流入減や、米国バイオ医薬品CDMOの新規ライン立ち上げ遅延及び設備改善のための稼働調整等により減収
- バイオ医薬品CDMOにおける能力増強に伴う先行費用等が発生

営業利益増減要因分析



(ご参考) バイオ医薬品CDMOの現状と見通し

- 事業環境は回復傾向にあるも、**24年は緩やかな回復にとどまり、25年に本格回復する見通し**
- 米国新規ラインは**商用運転を本格的に再開し、24年から収益改善に寄与**する見込み

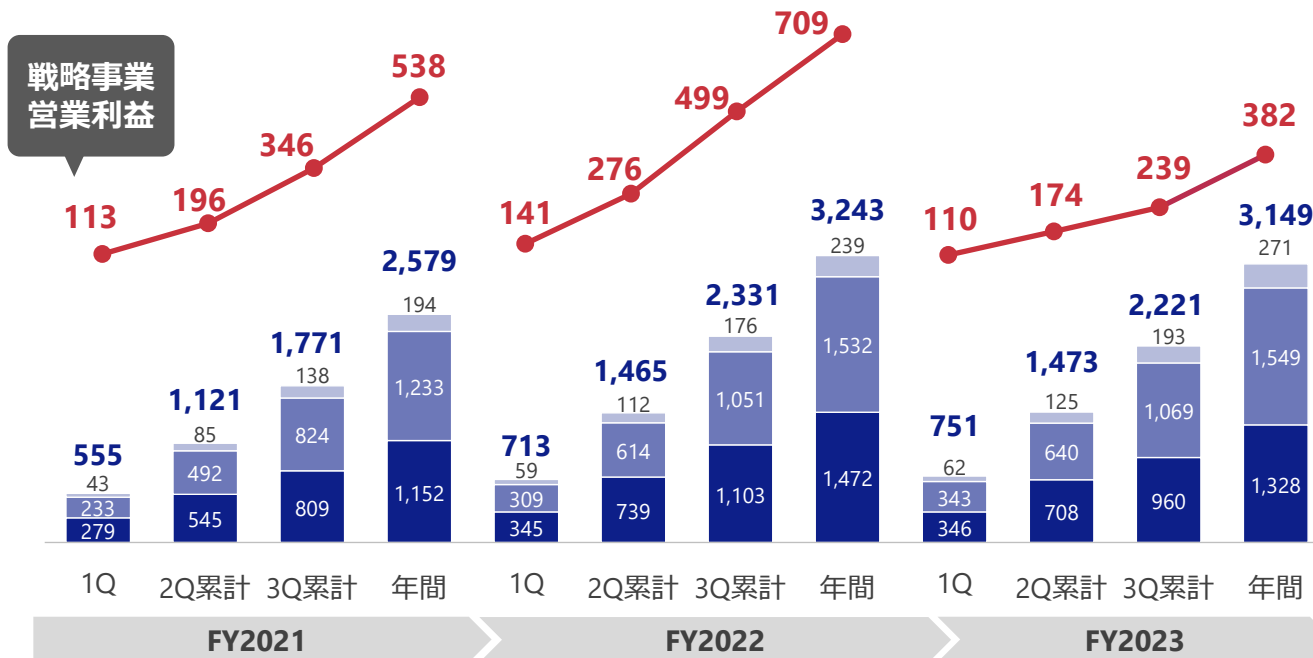
課題	現状*	今後の見通し
事業環境 コロナ特需による反動減、 バイオベンチャーへの 資金流入減などの影響	引き続きバイオベンチャーへの 資金流入減の影響を受けるも、 回復の兆し	緩やかながら市場回復が続き、 25年には本格回復する見通し
新規ラインの立ち上げ 米国ボルダー工場における 新規ラインの立ち上げ遅延	抜本的な対策を実施し、 23年末には商用運転に着手	24年に商用運転を本格再開、 収益改善に寄与

戦略事業の利益貢献

- バイオ医薬品CDMO（特に米国）が不調
- 半導体やスマートフォン市場の調整の影響を受け、エレクトロニクスも伸び悩む

戦略事業売上高推移

(億円)



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- モビリティ新規部材（含5G通信）

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材
- エレクトロニクス用フッ素製品

ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO
- その他のライフサイエンス製品

地域別業績 前期比較

通期	FY2022	FY2023	(億円) 増減
売上高	20,359	20,193	▲ 166
日本・アジア	13,027	12,734	▲ 293
アメリカ	2,078	2,191	+ 114
ヨーロッパ	5,254	5,267	+ 13
営業利益	1,839	1,288	▲ 552
日本・アジア	1,871	1,526	▲ 345
アメリカ	72	▲ 99	▲ 172
ヨーロッパ	314	335	+ 22
地域共通費用	▲ 417	▲ 474	▲ 57

為替差影響
+992億円

連結範囲変更の影響
▲48億円

2024年通期業績の見通し

2024年 通期業績見通し

■ 電子、ライフサイエンスの復調などにより増収・増益

(億円)

		FY2023	FY2024e
売上高		20,193	21,000
	(上期)	9,853	10,000
営業利益		1,288	1,500
	(上期)	643	600
税引前利益		1,228	1,050
親会社の所有者に帰属する当期純利益		658	530
1株当たり配当 (円)		210	210
営業利益率		6.4%	7.1%
ROE		4.6%	3.7%*
為替レート (期中平均)	1 USD	JPY 140.6	JPY 140.0
	1 EUR	JPY 152.0	JPY 160.0
原油 (Dubai,期中平均)	USD/BBL	82.1	85.0
エチレン (CFR SEA)	USD/MT	889	980

* FY2024予想のROEは、2023年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

セグメント別 売上高/営業利益見通し

(億円)

	FY2023 (a)		FY2024e (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	4,763	328	4,600	300	▲ 163	▲ 28
 オートモーティブ	4,997	218	5,100	230	+ 103	+ 12
 電子	3,132	184	3,300	330	+ 168	+ 146
 化学品	5,741	648	6,200	600	+ 459	▲ 48
 ライフサイエンス	1,268	▲ 124	1,400	30	+ 132	+ 154
 セラミックス・その他	834	33	800	10	▲ 34	▲ 23
消去	▲ 542	1	▲ 400	0	+ 142	▲ 1
連結合計	20,193	1,288	21,000	1,500	+ 807	+ 212

2024年 見通し



建築ガラス

アジア

- 高断熱・遮熱ガラスの需要拡大などにより、当社の出荷は堅調に推移する見込み

欧米

- 景気低迷の影響を受けるものの、エネルギー削減のための高断熱ガラスへの置き換え需要が当社の出荷を下支えする見込み



オートモーティブ

- 自動車生産台数及び当社出荷は、23年並みの見込み。また、価格政策や従来より取り組んでいる構造改革の効果が発現する見込み



電子

ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板は収益改善策の推進に加え、需要の回復により収益が改善
- ディスプレイ用特殊ガラスはスマートフォン市場の回復及び当社の主要なお客様からの受注が拡大し、出荷が増加

電子部材

- EUV露光用フォトマスクブランクス等の半導体関連製品は出荷が増加
- オプトエレクトロニクス用部材はスマートフォン市場の回復により、出荷が堅調に推移

2024年 見通し



化学品

エッセンシャルケミカルズ

- 東南アジアの需要は堅調に推移するものの、中国経済低迷により市況回復に時間を要することが懸念される

パフォーマンスケミカルズ

- 半導体向け、輸送機器向けフッ素関連製品の需要増により、出荷が増加



ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMOの受託売上は23年並みの見込み
- バイオ医薬品CDMOはバイオベンチャーへの資金流入減の影響を受けるものの、立ち上げが遅延していた米国新規ラインの商用運転再開などにより、受託売上は増加

設備投資額・減価償却費・研究開発費の見通し

年間	FY2023	FY2024e
設備投資額	2,317	2,500
建築ガラス	247	350
オートモーティブ	263	200
電子	514	400
化学品	877	1,160
ライフサイエンス	399	370
セラミックス・その他	18	20
消去	▲ 1	0

	FY2023	FY2024e
減価償却費	1,753	1,850
建築ガラス	244	250
オートモーティブ	319	340
電子	532	550
化学品	501	530
ライフサイエンス	139	170
セラミックス・その他	21	10
消去	▲ 2	0

(億円)

	FY2023	FY2024e
研究開発費	573	600

主な設備投資案件

- 東南アジアクロールアルカリ能力増強 (化学品)
- フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- バイオ医薬品CDMO能力増強 (ライフサイエンス)
- 電子部材関連製造設備増強 (電子) など

株主還元方針の変更 (1)

- 安定的な配当を継続するという従来からの姿勢を一層強化し、株主還元を用いる指標をこれまでの連結配当性向から、単年度業績の影響がより少ない資本配当率(DOE)に変更

現方針

- **連結配当性向40%**を目安に安定的な配当を継続
- 自己株取得は機動的に実施

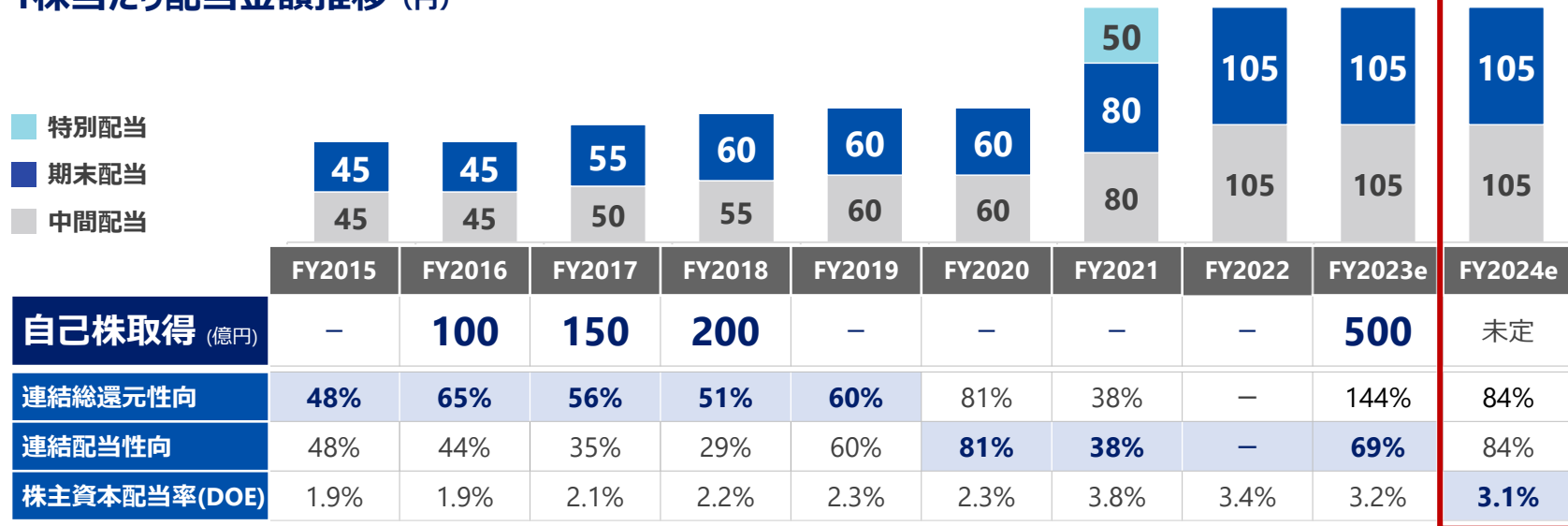
新方針

- **資本配当率 (DOE) 3%程度**を目安に安定的な配当を継続
- 自己株取得は投資案件やキャッシュの状況など総合的に勘案し判断

株主還元方針の変更 (2)

- 2024年は、昨年と同様の配当金額を予定

1株当たり配当金額推移 (円)



株主還元方針

総還元性向**50%**以上、
機動的に自己株取得

連結配当性向 **40%**
を目安に安定配当、
機動的に自己株取得

資本配当率 **3%** 程度
を目安に安定配当、
自己株取得は総合的に
判断

付属資料

セグメント別 ROCE・EBITDA

(億円)

	営業利益		EBITDA*		ROCE		営業資産	
	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023
 建築ガラス	327	328	566	572	10.9%	10.6%	3,000	3,100
 オートモーティブ	▲ 98	218	227	537	▲3.0%	6.4%	3,300	3,400
 電子	147	184	830	715	2.6%	3.1%	5,650	6,000
 化学品	1,261	648	1,736	1,148	23.3%	10.4%	5,400	6,200
 ライフサイエンス	169	▲ 124	284	15	6.7%	▲4.3%	2,500	2,900
 セラミックス・その他	37	33	56	55	18.4%	16.7%	200	200
消去ほか	▲ 3	1	▲ 4	0	—	—	—	—
合計	1,839	1,288	3,696	3,041	9.2%	5.9%	20,050	21,800

営業利益に対するインパクト



為替

1%円安で

6億円*増益

*JPYに対して全ての通貨が同じ割合で動いた場合の影響額



原油

1バレルあたり

1ドル上昇した場合

2.8億円*減益

*ヘッジ影響除く



化学品 市況

1 苛性ソーダ

国際市況が\$1下がると**\$1M**の減益

2 塩ビスブレッド

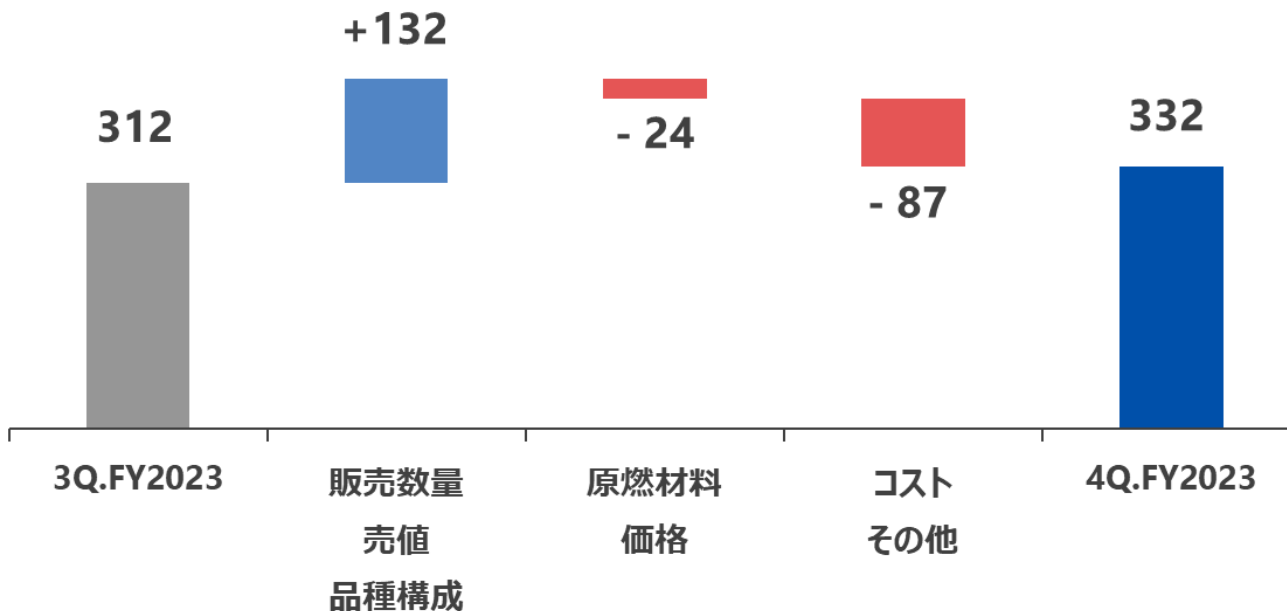
\$1下がると**\$1.2M**の減益*

*塩ビスブレッド：塩ビ市況－（エチレン市況×0.5）

営業利益増減要因分析(4Q.FY2023 vs. 3Q.FY2023)

前四半期比 20億円増益

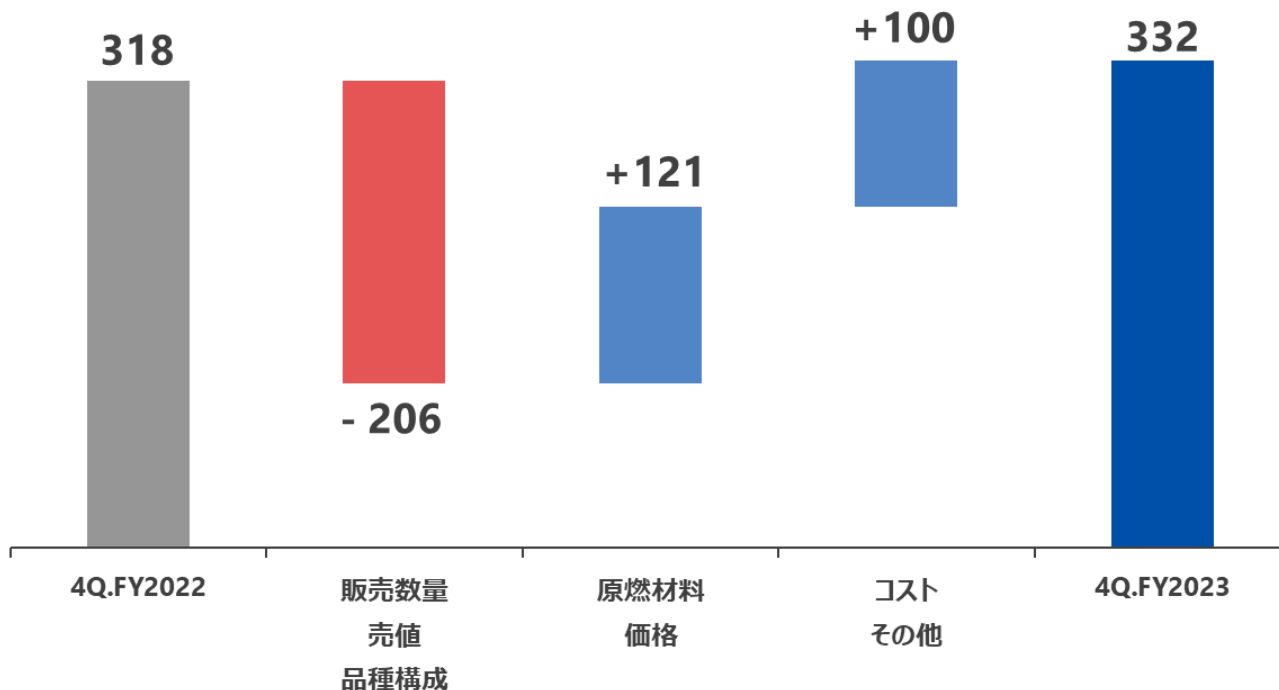
(億円)



営業利益増減要因分析(4Q.FY2023 vs. 4Q.FY2022)

前年同期比 14億円増益

(億円)



売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
 建築ガラス	4Q .FY2023	424	72	713	7	1,216
	4Q .FY2022	405	99	826	4	1,334
 オートモーティブ	4Q .FY2023	697	273	365	0	1,335
	4Q .FY2022	581	222	370	1	1,174
 電子	4Q .FY2023	765	106	3	4	878
	4Q .FY2022	725	81	2	6	814
 化学品	4Q .FY2023	1,329	73	73	11	1,486
	4Q .FY2022	1,465	82	66	13	1,626
 ライフサイエンス	4Q .FY2023	72	45	221	13	350
	4Q .FY2022	74	71	197	9	352
 セラミックス・その他	4Q .FY2023	125	-	-	107	232
	4Q .FY2022	103	-	-	115	218
消去	4Q .FY2023	-	-	-	▲ 142	▲ 142
	4Q .FY2022	-	-	-	▲ 148	▲ 148
合計	4Q .FY2023	3,413	568	1,374	-	5,354
	4Q .FY2022	3,354	555	1,462	-	5,370

売上高 セグメント・地域別展開 前期比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
 建築ガラス	FY2023	1,584	295	2,867	16	4,763
	FY2022	1,469	327	3,031	10	4,837
 オートモーティブ	FY2023	2,564	1,012	1,418	3	4,997
	FY2022	2,132	843	1,202	2	4,178
 電子	FY2023	2,770	338	11	12	3,132
	FY2022	2,771	267	11	23	3,072
 化学品	FY2023	5,111	320	265	45	5,741
	FY2022	5,982	309	260	54	6,604
 ライフサイエンス	FY2023	308	226	706	29	1,268
	FY2022	299	332	750	36	1,418
 セラミックス・その他	FY2023	397	-	-	437	834
	FY2022	374	-	-	492	866
消去	FY2023	-	-	-	▲ 542	▲ 542
	FY2022	-	-	-	▲ 616	▲ 616
合計	FY2023	12,734	2,191	5,267	-	20,193
	FY2022	13,027	2,078	5,254	-	20,359

業績推移 (1)

建築ガラス	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	2Q.23	3Q.23	4Q.23	(億円)
売上高	1,040	1,216	1,247	1,334	1,205	1,192	1,150	1,216	
アジア	319	361	384	405	373	386	401	424	
欧米	719	853	861	925	831	802	745	785	
(セグメント間)	2	2	2	4	1	5	4	7	
営業利益	73	132	86	36	93	93	83	59	
オートモーティブ	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	2Q.23	3Q.23	4Q.23	
売上高	936	956	1,112	1,174	1,184	1,223	1,255	1,335	
オートモーティブ	935	956	1,111	1,174	1,183	1,221	1,255	1,335	
(セグメント間)	1	0	0	1	1	1	1	0	
営業利益	▲ 33	▲ 58	▲ 63	56	48	54	59	56	
電子	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	2Q.23	3Q.23	4Q.23	
売上高	760	722	777	814	702	717	835	878	
ディスプレイ	450	420	346	338	358	425	418	406	
電子部材	304	296	425	470	341	290	414	468	
(セグメント間)	5	6	6	6	4	2	3	4	
営業利益	80	12	31	24	19	11	69	85	

業績推移 (2)

化学品	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	2Q.23	3Q.23	4Q.23	(億円)
売上高	1,617	1,720	1,641	1,626	1,410	1,418	1,428	1,486	
エッセンシャルケミカルズ	1,217	1,298	1,199	1,184	1,009	999	1,002	1,018	
パフォーマンスケミカルズ	385	410	427	429	391	407	414	457	
(セグメント間)	14	12	15	13	9	13	12	11	
営業利益	406	418	250	187	172	137	170	169	
ライフサイエンス	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	2Q.23	3Q.23	4Q.23	
売上高	332	378	356	352	332	348	238	350	
ライフサイエンス	316	376	347	342	321	346	235	337	
(セグメント間)	17	2	9	9	11	2	3	13	
営業利益	46	57	53	14	6	▲ 1	▲ 83	▲ 46	

数量・価格動向

前年同四半期比 (YoY)

数量・価格動向				2022				2023			
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
前年同四半期比（YoY）											
ガラス	建築用ガラス （AGC）	日ア	数量	+1割	+1割強	+1桁半ば	-1割弱	-1割弱	-1割	-数%	+1桁半ば
			価格	+2割弱	+約2割	+2割強	+2割	+約3割	+約3割	+3割弱	+2割強
		欧州	数量	+約1割	微減	-1割強	-約2割	-2割弱	-1割強	-数%	-1桁半ば
			価格	+4割強	+約6割	+8割弱	+約5割	+約2割	-10%台半ば	-4割弱	-3割強
	自動車生産台数 （S&P global 1/5データより）	日本	数量	-14%	-15%	+24%	+9%	+13%	+27%	+13%	+12%
		北米	数量	-2%	+11%	+23%	+8%	+10%	+15%	+8%	+4%
		欧州・ロシア	数量	-17%	-4%	+22%	+7%	+18%	+17%	+8%	+6%
電子	ディスプレイパネル需要 * （Omdia社）	グローバル	面積	+4%	-4%	-9%	-7%	-15%	+4%	+11%	-5%

* Source : Omdia-Display Long-Term Demand Forecast Tracker – 3Q23 Pivot
Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.

		IFRS				
		19/12	20/12	21/12	22/12	23/12
売上高	百万円	1,518,039	1,412,306	1,697,383	2,035,874	2,019,254
営業利益	百万円	101,624	75,780	206,168	183,942	128,779
営業利益率	%	6.7	5.4	12.1	9.0	6.4
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	44,434	32,715	123,840	△ 3,152	65,798
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	3.9	2.9	10.2	△ 0.2	4.6
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	4.4	3.1	7.9	6.7	4.5
自己資本比率	%	50	44	49	49	49
D / E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.47	0.63	0.41	0.41	0.42
営業CF / 有利子負債	倍	0.32	0.29	0.54	0.33	0.31
一株当たり当期純利益 (EPS) *3	円	200.85	147.84	559.11	△ 14.22	304.73
一株当たり配当金	円	120	120	210	210	210
EBITDA *4	百万円	231,857	208,459	383,226	253,209	315,965
為替レート (期中平均)	円/ドル	109.05	106.82	109.80	131.43	140.56
	円/ユーロ	122.07	121.81	129.89	138.04	152.00

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

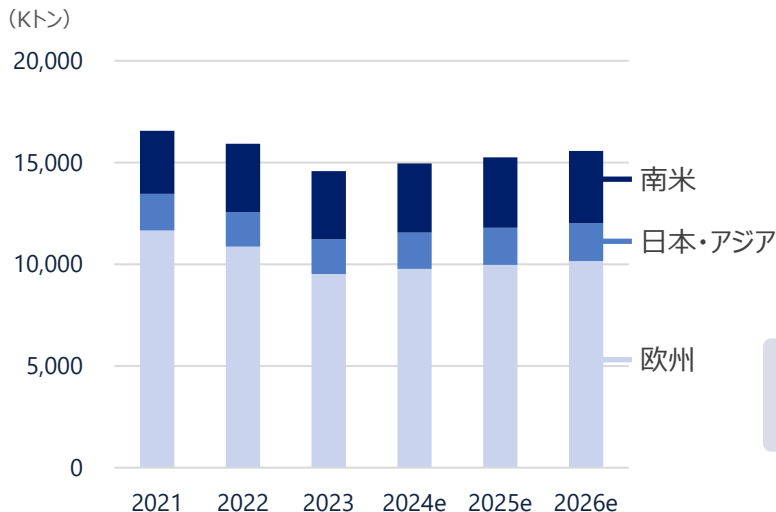
*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

その他の財務指標についてはこちらを参照ください https://www.agc.com/ir/pdf/data_all.pdf

- 環境対応が求められる中、**リノベーション需要・環境貢献製品需要が増加**
- 省エネ・創エネにつながる高付加価値製品に注力し、景気変動の影響を受けにくい事業体質の構築を目指す

建築用ガラス需要見通し*1



環境貢献製品（例）



ウォームエッジ
高断熱複層ガラス



真空断熱ガラス

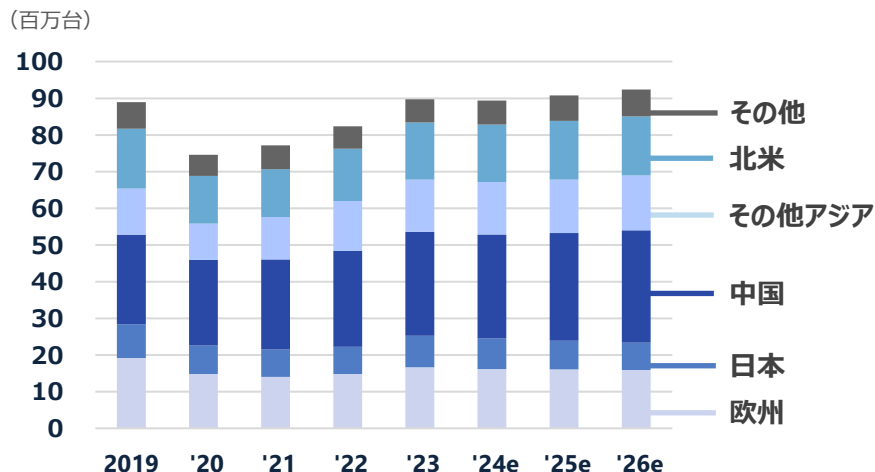


建材一体型太陽光
発電モジュール*2

*1：AGC推定（当社が展開する事業地域のみを記載） *2：シンガポール工科大学に採用予定の太陽光発電ガラス

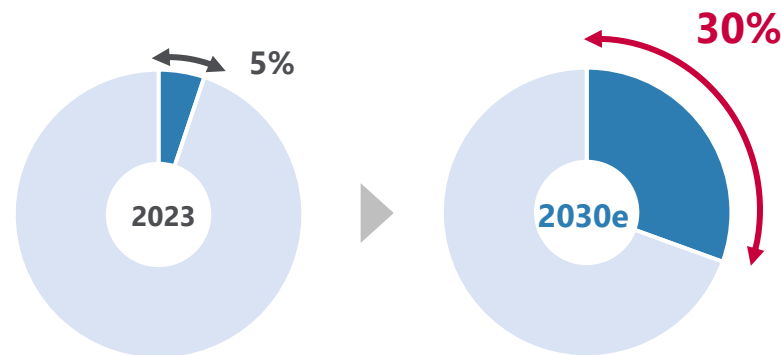
- 価格政策の見直し、生産体制の再編、設備の高効率化、DXの推進により、損益分岐点を引き下げ、市況変動に強い体質を作る
- CASE関連など高付加価値品比率を高め、収益性を向上

グローバル自動車生産台数 推移*1



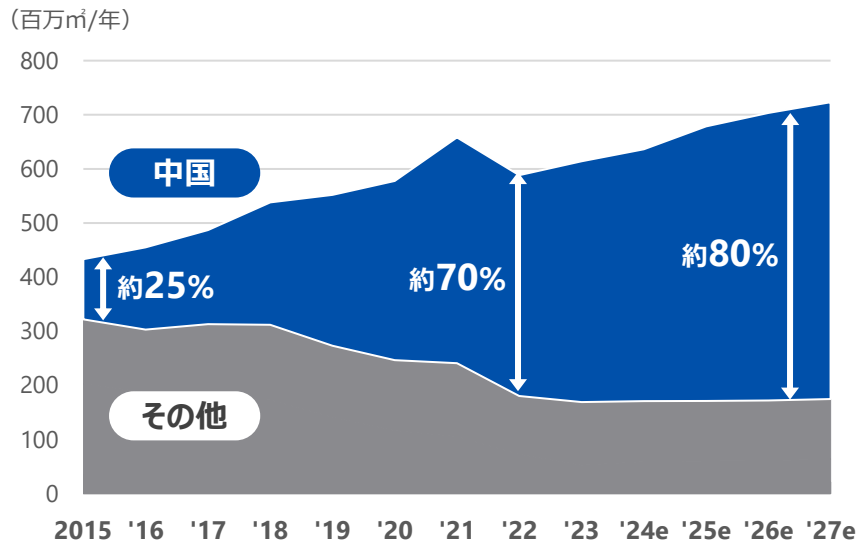
当社 高付加価値品比率の推移

- モビリティ製品*2
- その他製品

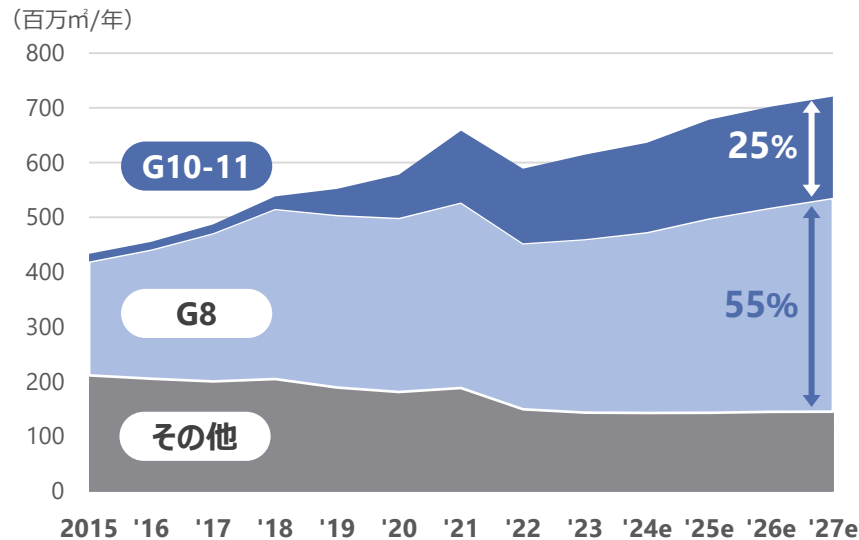


■ 今後も中国での需要は更に拡大

液晶用ガラス需要推移（地域別）



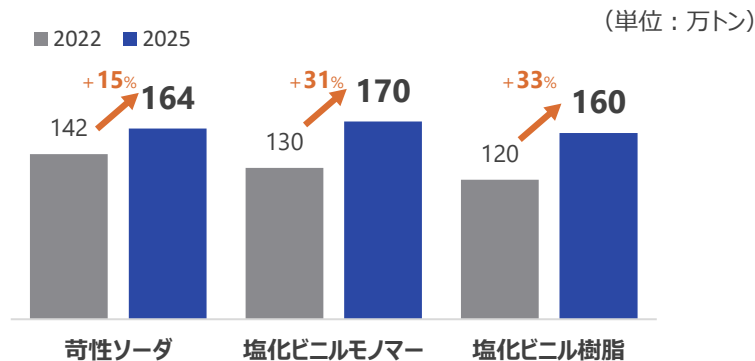
液晶用ガラス需要推移（世代別）



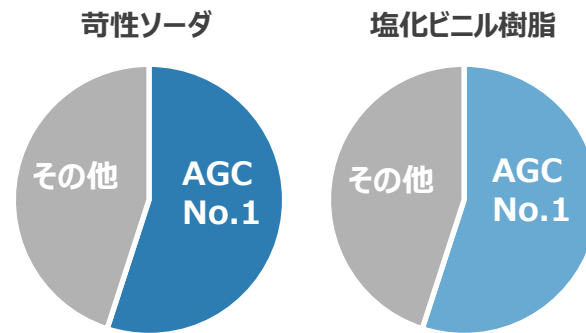
出典：AGC推定

- 2022年に決定した1,000億円を超える投資は2025年立ち上げに向けて計画通りに進捗中
- 東南アジアでの当社ポジションは更に上昇
- 年率4%で成長する東南アジア地域の需要を着実に捕捉
能力増強を継続検討し、2030年までには年産200万トンレベルの生産体制を目指す

東南アジアクロールアルカリ生産能力 推移



東南アジア生産能力ベースのシェア（増設後）



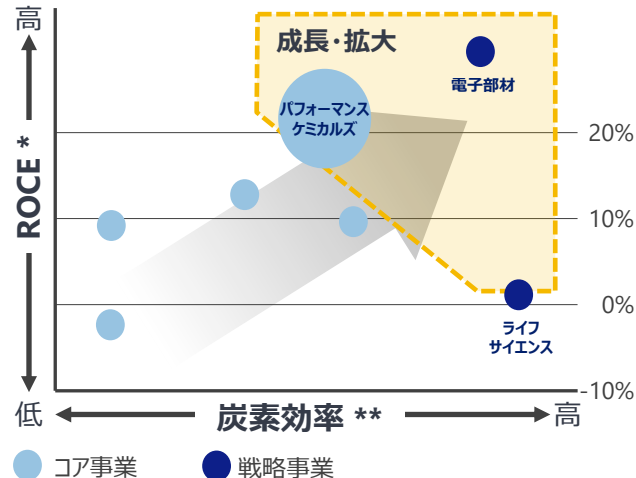
生産能力ベースシェア：苛性ソーダは域内に豪州／NZを含まず、塩ビは域内に豪州／NZを含む

パフォーマンスケミカルズ 概要 (1)

- 資産効率・炭素効率ともに高い**成長事業**
- **高い技術特性**が求められるグローバルニッチ市場で高い評価を獲得
- 2030年には**売上高3,000億円以上**を目指す

事業ポートフォリオにおける位置づけ

ROCE、炭素効率ともに高く、**成長事業**の位置づけ



グローバルニッチトップ戦略

フッ素の特性を用いた**技術開発に強み**

世界 No.1***シェア



ETFE樹脂
(フッ素樹脂)



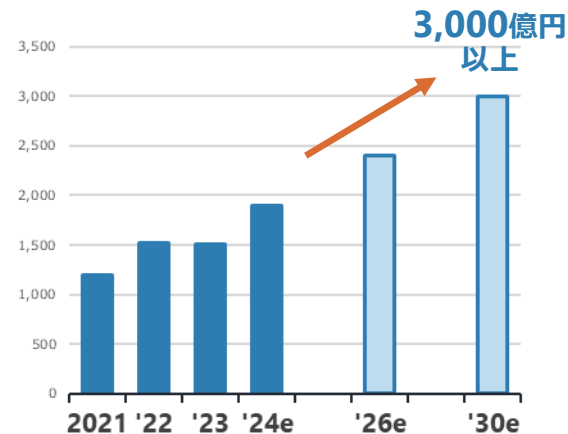
燃料電池膜用
フッ素系電解質ポリマー



現場塗装
塗料用フッ素樹脂

パフォーマンスケミカルズ売上高推移

(単位：億円)



*2023年ROCEをもとに作成

** 2023年売上高あたりの2022年排出量をもとに作成

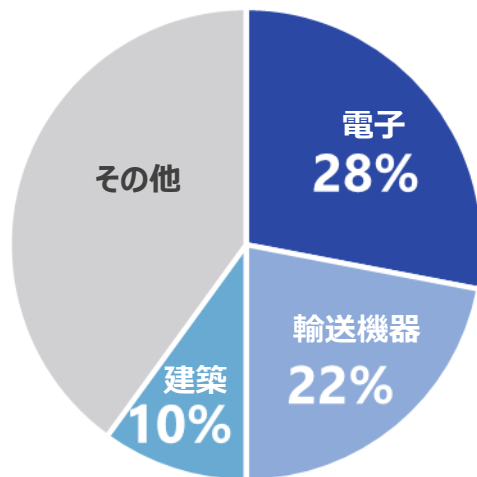
***2024年1月時点当社推定

パフォーマンスケミカルズ 概要 (2)

- 需要の約6割は、主用途である電子、自動車、航空機などの輸送機器、建築分野
- 残りは多様且つ特殊な分野の需要の積み上げから成り立っている

用途別売上高比率（2022年）*

*一部製品の分類見直しを実施



電子



輸送機器



建築



ライフサイエンス 概要 (1)

- 日米欧3極・10拠点で統合された高度なcGMP体制を構築、どの地域からも同様に**高水準な開発・製造サービス**を幅広い分野で提供



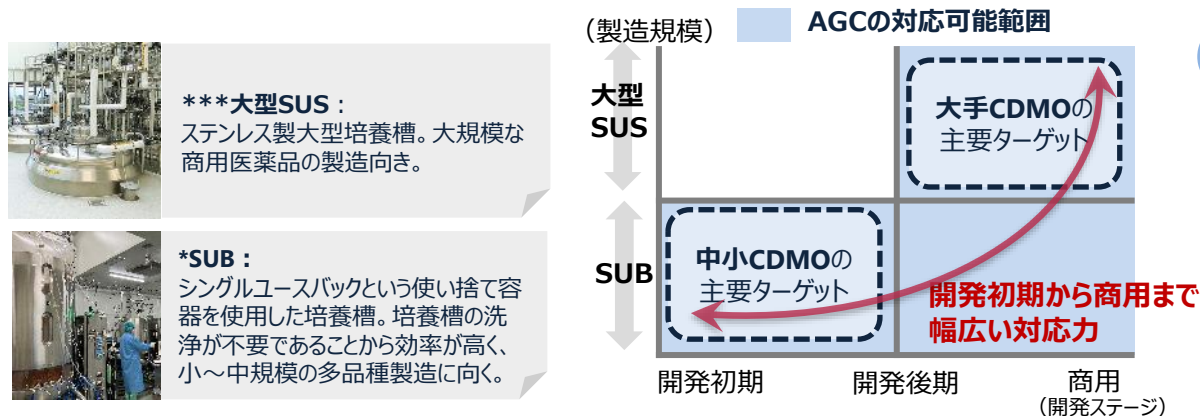
ライフサイエンス 概要 (2)

■ 開発の進展とともに拡大する生産規模のニーズに幅広く対応

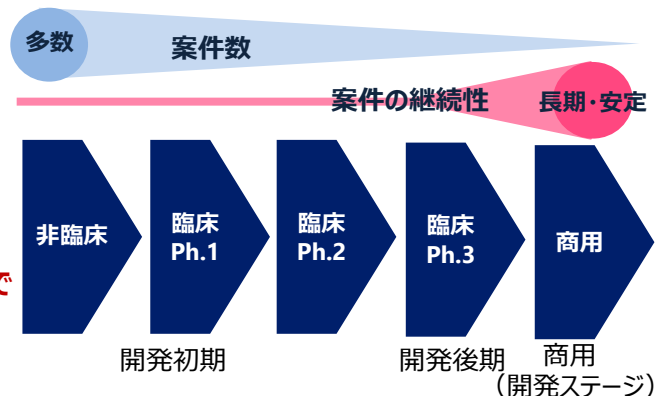
- 合成医薬：開発初期の少量製造に適したキロラボ・パイロット設備から、商用向けの大型反応器まで保有
- バイオ医薬：現在の主流である動物細胞について、小～中規模までフレキシブルな生産に強みを持つ**SUB***を他社に先駆けて導入。**現在SUBの生産能力はグローバルNo.2****
2020年には**大型SUS*****培養槽も導入し、ブロックバスターなど大型商用品へのニーズにも対応

■ SUBの豊富なキャパシティ・実績を活かし、開発初期案件の受託を積み上げ、長期受託が見込める開発後期・商用化までお客様と共に育てるサイクルが機能し、中長期的に成長が継続

バイオ医薬品事業におけるAGCの対応可能範囲



開発の進展に伴う受託案件の性質の変化

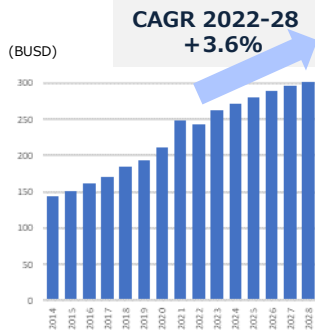


ライフサイエンス 概要 (3)

- 開発後期・商用医薬品の製造には、高度な品質・製造管理体制と当局による厳格な査察が必要
- 多額の開発投資を費やしてきた候補薬を確実に早期に上市するため、**信頼・実績のあるCDMOへの委託を求める傾向**
- AGCは長年の事業経験を基に、**豊富な製造・査察実績、お客様からの信頼を獲得**。商用品の受託件数がさらに増加

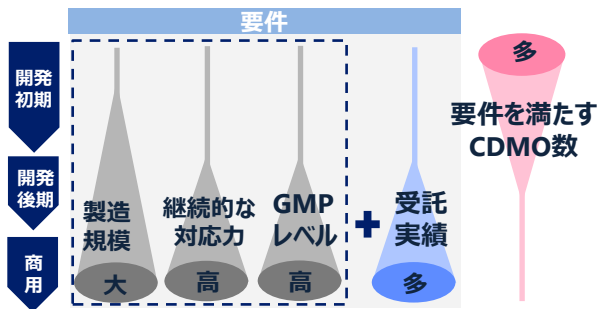
実績が蓄積するほど、さらに受託が増える好循環に

医薬品R&D費用推移*



R&D費用が年々増加
早期・確実な上市による
投資回収が必須

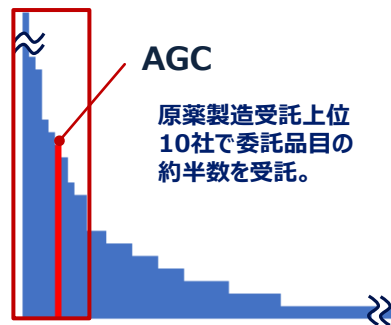
開発の進展に伴うCDMOに求められる要件水準の変化



上市スケジュール遅れ等による機会損失リスクから、特に開発後期・商用案件のCDMO選定において、能力の裏付けとなる「実績」は重要な要件

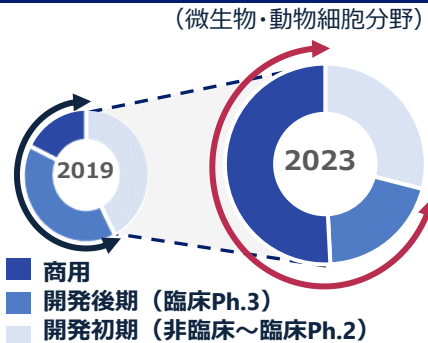
開発後期・商用案件の実績豊富なCDMOは限定的

バイオ医薬品原薬受託数**



AGCを含む一部CDMOに受託が集中。
そこで得られた実績が強みとなり、さらなる受託が増える好循環

当社のフェーズ別受託割合（金額）



商用案件の比率が増加
商用品は長期継続的な受託が見込めるため、中長期的に成長が継続

ライフサイエンス 概要 (4)

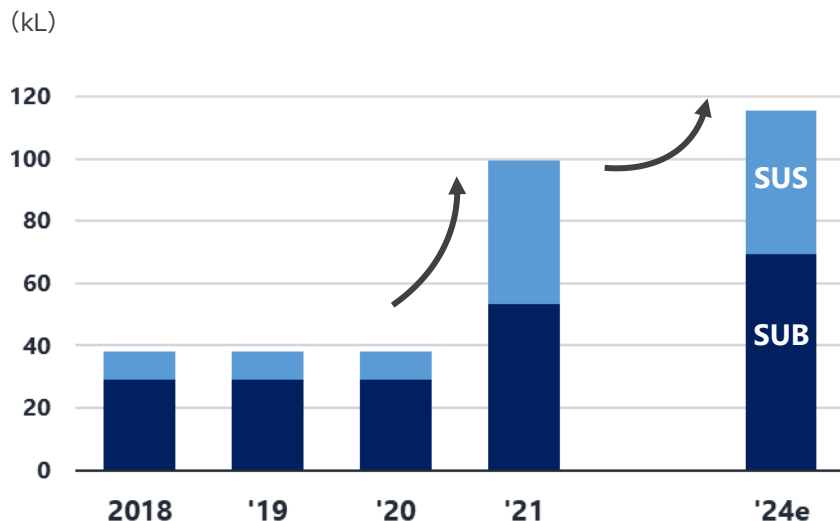
		拠点所在地	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
合成 医農薬	欧	マルグラット		買収						増強	
	日	千葉・福井				増強				増強	
バイオ医薬品	微生物・動物・遺伝子細胞	欧	2016 買収						pDNA増強 + mRNA新設		
		欧	2017 買収	増強						増強	
		米	2017 買収	増強						増強	
		米			買収	稼働開始					
		日			増強				pDNA増強		
		日									増強
		欧			買収				増強		
		米				買収				増強	
		M&A								M&A	

(表記は稼働開始ベース)

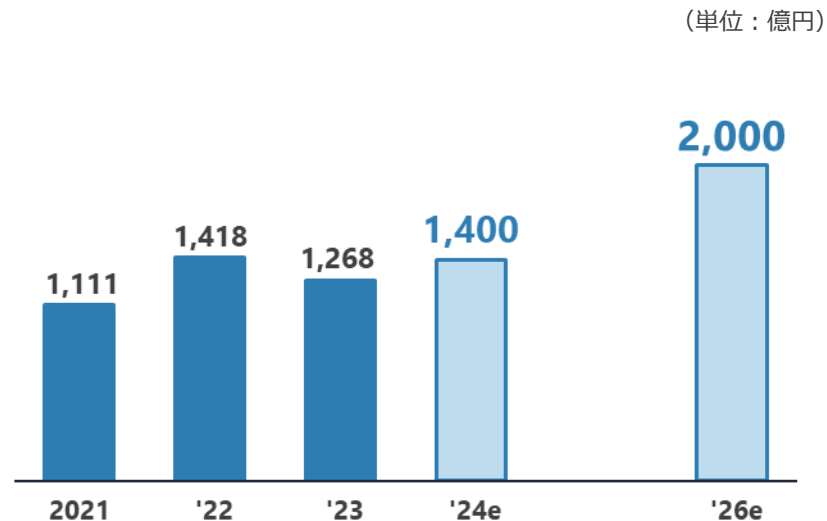
ライフサイエンス 概要 (5)

- 能力増強をタイムリーに実施していくことでバイオCDMO業界の成長を捕捉、更なる事業拡大を図る
- 2026年には売上高2,000億円超えを目指す

バイオ医薬品CDMO製造能力(動物細胞のみ) 推移



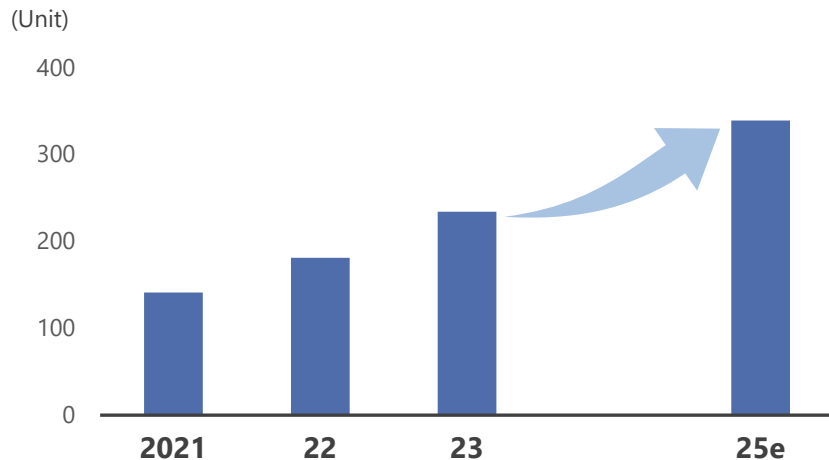
ライフサイエンス売上高推移



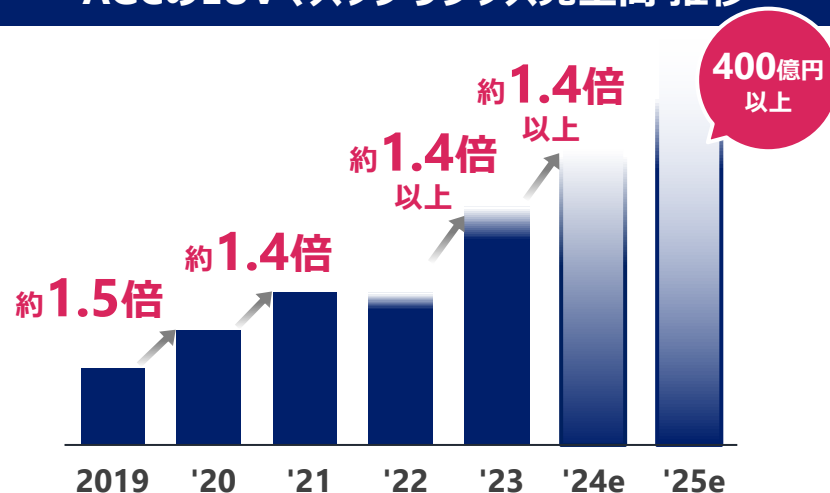
エレクトロニクス 概要（1）

- EUVマスクブランクスはロジックに加えメモリーでも採用が増加
- EUV露光機の出荷予測によると、今後の需要拡大が期待される
- 今後も市場成長に合わせ積極投資を継続

EUV露光装置累積台数 推移*



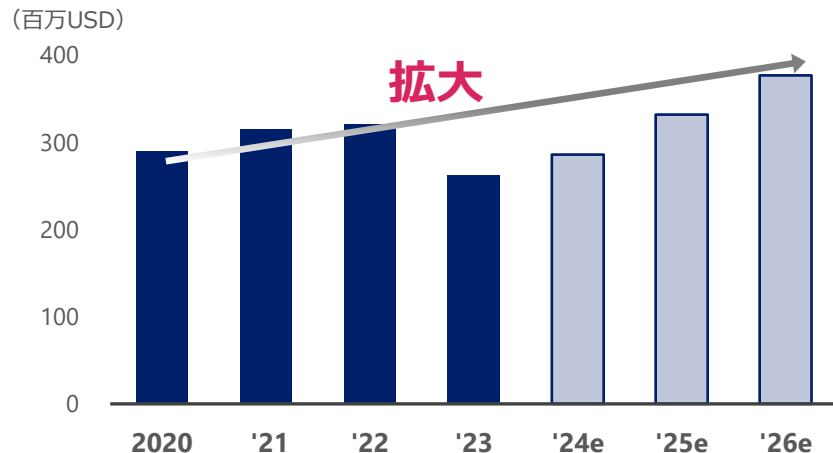
AGCのEUVマスクブランクス売上高 推移



CMPスラリー

23年は停滞したものの、先端ノードに加え、現行ノードへの積極的な増産投資が予定されており中長期的にはセリասラリーの市場は拡大

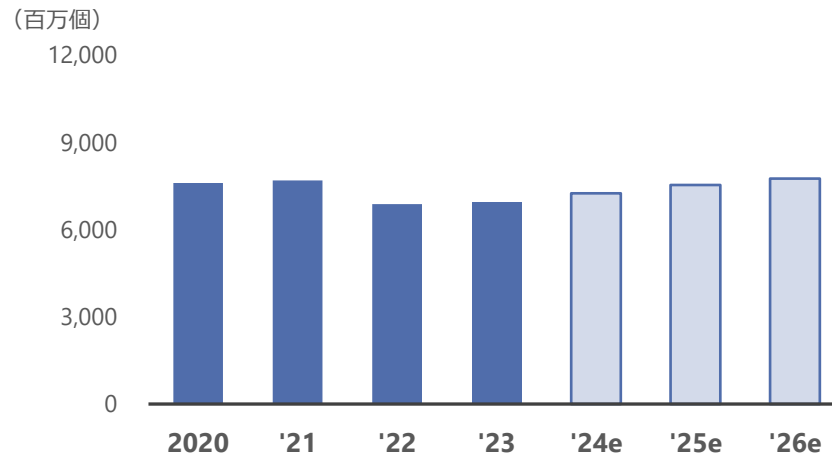
セリასラリー市場



オプトエレクトロニクス用部材

足元ではスマートフォン市場停滞の影響を受け、成長率は鈍化しているものの、中長期的には市場回復により、搭載カメラ総数は増加

カメラ用イメージセンサー個数



- CASEによる市場変化を見据え、**事業機会を確実に捉える**
- **車載ディスプレイ用ガラス**は欧州系高級車を中心に100車種以上で採用

ガラスのディスプレイ化や通信機能付加などにより素材だけでなくソリューションまで提供

自動車用ガラス



車載ディスプレイ用 カバーガラス



2019年発売のLEXUS「RX」
などに採用されており、
世界シェア No.1

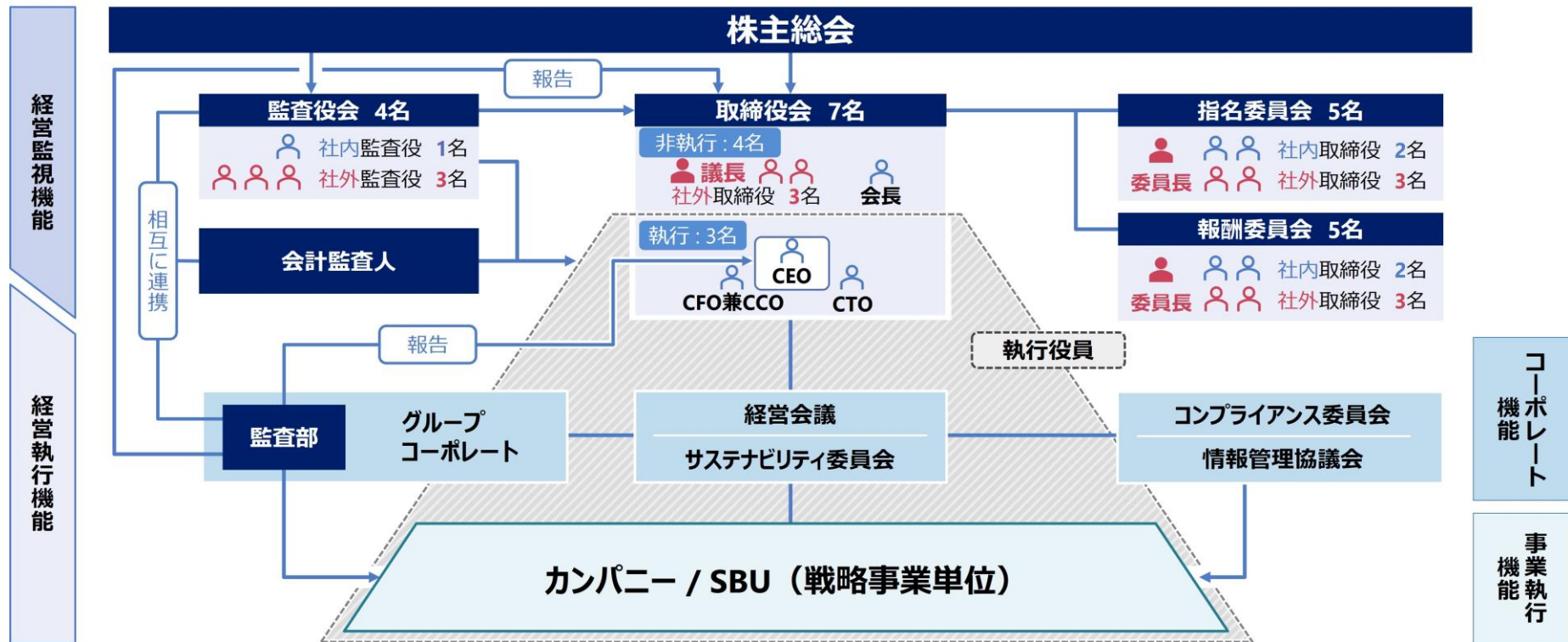
5G対応自動車用 ガラスアンテナ



NTTドコモ、エリクソンと共同で
「ガラス一体型5Gアンテナ」
による5G通信に成功

当社のコーポレートガバナンス体制の概要図

👤 : 社内出身の取締役又は監査役 👤👤 : 独立性が確保された社外取締役又は社外監査役



 FTSE4Good	FTSE4Good Index Series に選定
 FTSE Blossom Japan Index	FTSE Blossom Japan Index に選定
 S&P/JPX カーボン エフィシエント 指数	S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数に選定
 CDP SUPPLIER ENGAGEMENT LEADER 2022	CDP Climate Change A 評価 CDP サプライヤー・ エンゲージメント・リーダー に選定
 SCIENCE BASED TARGETS DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION	SBTi 温室効果ガス削減目標 「WB2℃」認定取得

 NIKKEI Smart Work ★★★★ 2024	「第7回日経スマートワーク 経営調査」4星 の格付けを獲得
 2023 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500	「健康経営優良法人2023 ホワイト500」に選定
 GOLD 2023 ecovadis Sustainability Rating PLATINUM 2022 ecovadis Sustainability Rating SILVER 2022 ecovadis Sustainability Rating	EcoVadisサプライヤー評価 で 最高ランク を取得 「PLATINUM」：鹿島工場、 AGC Pharma Chemicals Europe社 他国内外複数拠点で高評価
 Top 100 Global Innovator 2023 Clarivate	Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター 2023 に 選定
 DX銘柄2023 Digital Transformation	「DX銘柄2023」に選定

2023年 主要発表事項

 発表日	 内容
1月12日	SBTi から温室効果ガス削減目標「WB2℃」の認定を取得
2月6日	A G Cとサンゴバン社、板ガラス製造におけるCO ₂ 排出量大幅削減に向け共同開発に合意
2月8日	ロシア事業について譲渡の検討を開始
2月8日	報告セグメント変更に関するお知らせ
2月8日	自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ
3月8日	4年連続で「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定
3月16日	CDPが実施する「サプライヤー・エンゲージメント評価」で最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」企業に選定
3月23日	フッ素製品の製造能力増強を決定
4月27日	EUV 露光用フォトマスクブランクスの生産能力を増強
5月12日	関西工場高砂事業所における液晶用ガラス基板製品の生産終了を決定
6月1日	「DX銘柄2023」に選定
6月19日	社内向け対話型AI「ChatAGC」を構築、運用開始
6月27日	世界初、実生産炉でのアンモニアを燃料に利用したガラス製造の実証試験に成功
8月31日	世界初となるガラス製造時に発生するCO ₂ を原料とした環境循環型メタノールの製造販売を検討開始
9月6日	車載用全固体電池向け硫化物固体電解質の新生産技術開発に成功
9月25日	自己株式取得状況（2023 年 9 月度）および取得終了に関するお知らせ
10月12日	自己株式の消却に関するお知らせ
10月26日	水素を燃料に利用したガラス製造の実証試験に成功
11月7日	太陽光パネルカバーガラスのリサイクル実証試験に成功
12月21日	横浜で国内バイオ医薬品CDMOの開発・製造能力拡大を決定

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



Your Dreams, Our Challenge